

# 農作業コツのコツ

【第6号】

令和5年5月27日  
福光農業改良協議会  
砺波農林振興センター南砺班  
福光農業協同組合 営農部

早生

溝切りを確実に、田植え後1か月までに中干しを開始しましょう。

現在、水稻の生育は概ね順調ですが、深水管理のほ場では分けつの発生が少なくなっています。初期分けつの確保に向けて、**浅水管理**や藻が発生した場合は水の入れ換え等を行きましょう。また、田植え後1か月までに中干しが開始できるように溝切りを遅れずに行いましょう。

## 水稻の生育状況

(5月23日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色	
	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年
とみちから	5/2	5/3	27.3	25.7	9.1	5.2	6.0	5.4	4.3	4.1
五百万石	5/7	5/3	19.4	22.4	6.4	4.1	5.3	5.6	4.2	4.2
てんたかく81 慣行苗	5/4	5/2	23.7	23.5	5.3	3.8	5.4	5.1	4.1	4.1
密苗	5/4	5/3	17.0	19.8	6.4	5.6	4.9	4.9	4.0	4.1

※てんたかく81の平年値はR4年の値

(調査筆数：各2筆)

## 水稻 早生

### 1 溝切り ~まだ溝切りをしていないほ場は、早急に行いましょう~

中干しの効果を高め、速やかに入水・落水できるよう、必ず**溝切り**を行きましょう。  
※詳しくは、「営農とくらし」のP34を参照してください。

#### ◎溝切りの効果

- ・ほ場への入水、排水が短時間に均一に行え、水管理がしやすくなる。
- ・ほ場全体が均一に乾くため、出穂後20日間の湛水管理をしても収穫作業がしやすくなる。

#### ◆溝切りのポイント

- ・5m(15~17条)に1本程度を目安に、しっかりと収穫時まで残る溝を切りましょう。
- ・乾きにくいほ場や場所は溝を多めに切りましょう。
- ・溝と溝をつなぎ、水戸尻まで確実に**連結**しましょう。

#### 乗用管理機による溝切りのコツ

- ①溝切り前に2~3日程度、軽く干す。  
ひたひた水程度まで再入水した後、溝を切る。  
(溝切り直後に落水する)
- ②ほ場が硬い場合は、走行速度を速めに、軟らかい場合は、ゆっくりと走る。
- ③枕地で旋回中はハンドルを動かさない。



### 2 中干し

#### ◎中干しの効果

- ・無効分けつの発生を抑制する。
- ・土壌の還元化による硫化水素や有機酸を抑制し、根の発育を促す。
- ・土壌の硬さを確保する。

#### ◆中干しの開始時期

- ・中干しは、**田植え後1か月までに開始**しましょう。
- ・特に分けつが旺盛な場合は、早めに開始しましょう。

#### ◆中干しの程度

中干しは、数回に分けて干し上げましょう。

#### 中干しによる違い

適正

不十分

根量が増えれば稲体が大きくなり、収量が向上



#### 中干し開始時の目安(茎数)

とみちから(80株植) 15本/株  
五百万石(80株植) 12本/株  
てんたかく81(70株植) 19本/株

粘質田 (水持ちの良いほ場)	長靴が少し沈む程度、田面に強いヒビ
黒ボク・転作跡田 (水持ちの悪いほ場)	田面に弱いヒビ

ヒエやホタルイ等の雑草が散見されます。発生状況を確認し、適切に除草剤を散布しましょう。

## 藻類・表層はく離対策

藻や表層はく離が発生しているほ場が見られます。発生が多いと、植え付けた苗が倒されたり、水温や地温が低下し、分けつの発生が抑制されます。次の対策を実施しましょう。

- <対策>・水の入れ換えや田干しを行いましょ。う。  
・多発している場合は、**モゲトン粒剤**を散布しましょ。う。

薬剤名	10a 当たり使用量	使用上の注意
モゲトン粒剤	移植 2～3 kg 直播 1.5～2 kg (総使用回数3回以内)	・藻にかかるように散布する(スポット処理が可能)。 ・他の除草剤との併用が可能(モゲトン散布2～3日後に散布すると効果的)。

## 水稻 中生・晩生

### 1 水管理

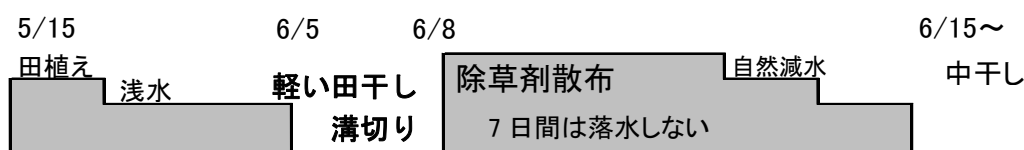
- ・除草剤を散布して7日以上経過したほ場では、晴れた日に**軽い田干し**(1～2日)を行い、根の健全化を図りましょ。う。
- ・その後は**浅水管理**(3cm程度)により水温・地温の上昇に努め、分けつ発生の促進を図り、早期に良質な茎を確保しましょ。う。

### 2 中後期除草剤の使用

残草している場合は、稲の葉齢や雑草の種類・大きさを確認して適切な**除草剤**を選び、遅れずに散布しましょ。う。

※詳しくは、「営農とくらし」のP54～57、P60～61を参照してください。

#### ○除草剤(粒剤)散布の作業例(5月15日田植え)



中干しを適期に開始するため、除草剤散布前に軽い田干しと溝切りを行いましょ。う。

## 水稻 直播

### 1 水管理

- ・**浅水管理**(3cm程度)の徹底により、分けつの発生を促しましょ。う。
- ・徒長気味に生育しているほ場では、晴れた日に2日間程度の**田干し**を行い、根張りを良くしましょ。う。

### 2 中後期除草剤の使用

残草している場合は、雑草の種類・大きさを確認して適切な**除草剤**を選び、遅れずに散布しましょ。う。

※詳しくは、「営農とくらし」のP54～55、P58～59、P61を参照してください。

### 3 溝切り・中干し

- ・中干し前に溝切りを必ず行いましょ。う。
- ・苗立本数が多いほ場では、**中干し**が遅れると茎数が過剰になり倒伏しやすくなります。1m間の茎数が100本を目安に遅れずに開始しましょ。う。

#### 中干し開始の目安(平年)

播種時期	開始時期
4月末	6月10日頃
5月上旬	6月13日頃

**大麦ほ場ではカラスノエンドウの抜き取りを徹底しましょ。う。**